

# 智頭町 智頭町 森林組合だより 平成27年12月 No.18

もくじ ☆☆☆☆ CONTENTS



1. 推進員研修会の開催について・・・(1)
2. オーストリア林業視察調査団の報告・・・(2)
3. やっています「智頭杉の森見学ツアー」・・・(3)
4. デュアルシステムの取組について・・・(3)
5. 「安全は何物にも優先」・・・(4)
6. 森林組合の取組・・・(5)
- 森林経営計画団地の設定について
- 地籍調査研修
7. 意見交換会・予算要望について・・・(6)
8. 森林組合間伐等事業の流れ・・・(7)
9. 地区座談会の開催・・・(8)
10. 理事会開催報告・・・(8)
11. 加工センターから(仏壇、イス)・・・(8)

☎689-1402 智頭町森林組合

鳥取県八頭郡智頭町大字智頭 2081 番地 4

TEL(0858)75-0075(代) FAX(0858)75-1192

木材加工センター

TEL(0858)75-0104 FAX(0858)75-1446

## 推進員研修会開催



若桜木材協同組合の  
長尾理事長の説明



山陰丸和林業株式会社  
村田取締役の説明



赤堀楠雄氏の講演

今年度の研修会を、去る9月5日晴天のもと推進員31名の参加を得て、総勢51名で開催しました。研修地は、オートライン生産に加え注文に応える製品造りを取り入れた若桜木材協同組合と大型粉砕機により低質材をチップにし、木質バイオマス発電用に供給する山陰丸和林業株式会社八頭事業所を視察しました。

また、新たな企画でレーク大樹にて林業・木材講演会を実施しました。講師に森林・木材ライターの赤堀楠雄氏をお招きし、「これからの林業経営とマーケットへの対応」と題して木材流通、有名林業地の取組みなど、業界の現状を詳しくお話頂きました。特に木材生産のニーズがあるのは低質材(安価な材料)で、低質材の利用が、主流になると良質材の供給が難しくなるため、「良い木をつくり、良材のマーケット開発に力を入れるべき」と熱く語られたことが心に残りました。推進員の方より<良い話だった、山づくりは間違っていなかった>と交流会の時に意見もあり、智頭材の販路拡大、利用に一層努力していくべきと思い、満足頂いた一日でした。

## オーストリア視察調査団の報告

平成27年10月3日から14日まで、12日間オーストリアの林業・木材産業、林業研修所、地域づくり等の視察調査団に寺坂森林組合長が参加しましたので、概要を報告致します。

表題部の写真は、現地でのオーストロフォーマ（国際林業機械展）の展示デモの状況です。勾配のない林地での大型タワーヤーダ、プロセッサが稼働していました。

傾斜地の多い智頭の林業現場には、林道・作業道を利用したの車両系がどうしても難しく、架線系に依存しなくてはならない場所があり、タワーヤーダの導入も検討する必要があると考えております。現地で見たタワーヤーダは、智頭の路網整備状況、1スパンごとの搬出量、購入金額等からは大型過ぎて導入は難しいと考えており、国産の小型の機械が妥当と感じました。

製材所では、木材の検寸、含水量測定、木取りが1人のオペレーターで操作している状況であり大いに参考になりましたが、取扱量が智頭や鳥取県内と比較にならない製材量でありました。



地域づくりでは、各家庭に木質チップボイラーを利用した温水が配水されておりました。特に、利用する木質はポプラ、ヤナギ類です。写真のヤナギは2～3年程度で熱源として収穫し、資源そのものが循環利用する方策は参考になりました。また、どの地域でも同じですが、関係者を束ねるリーダーの存在が大きいと思いました。



【オーストリア大使館にも表敬】



ちょっと一服

【国際林業機械展に馬の出馬】

## やっています「智頭杉の森見学ツアー」

このツアーは、智頭杉の良さを少しでも多くの皆様に知ってもらい、利用拡大を図る「智頭杉でマイホームを！！」プロジェクトの一環として、春・秋の2回開催しております。

手入れの行き届いた森林、森林組合木材加工センター、新築住宅と一連の現場を見学していただいております。

また、今年度より新設した「木工体験コース」は、智頭杉で本棚・イスが作れるとお客様から大変好評をいただいております。

これからも、皆様からの貴重なご意見をもとに、今後のツアーに役立てるとともに、智頭杉の販売促進に努めて行きます。なお、このツアーに参加された方が家を智頭町森林組合加工センターの材を使って、新築等されると次のとおり支援させて頂いております。

○新築(智頭材 10m<sup>3</sup> 以上使用で)10 万円支援

○リフォーム(智頭材 0.3m<sup>3</sup> 以上使用)で最高 6 万円支援



森林見学



木工体験



木材加工センター見学

## 智頭農林高校のインターンシップとデュアルシステムの取組

### ● インターンシップとは？

2年時の就業体験・・・森林組合事務所で簡単な事務、森林現場、加工センターでの5日間程度の林業関係の体験

### ● デュアルシステムとは？

3年時の長期就業体験実習・・・5月から9月までの5ヶ月間のうち、金曜日に10回程度実施

智頭町森林組合では、智頭農林高校の要請を受け、従来から取り組んでいるインターンシップで林業体験をした3年生のうち、林業関係への就職を希望している生徒を対象にデュアルシステムに取り組む事としております。

<デュアルシステムのメリット>

- 生徒と企業双方が合意すれば、卒業後そのまま採用することを前提としているため就職後のミスマッチ（早期離職）を少なくすることが出来る。
- 実際の現場の技術と実践的な態度を身につける事が出来る。

<実施に向けた組織化>

- 智頭農林、町、事業体、学識経験者等の産官学が連携して、人材育成についてデュアルシステムを含めた方策について検討等を行う「地域産業担い手育成協議会」を設置（事務局：智頭農林高校）して対応しています。

# 安全は何者にも優先

旧暦の10月9日は「山の神」の日で、今年は平成27年11月20日がその日に当たります。山を仕事場としている森林組合では、当日、全従業員で安全衛生研修会を開催いたしました。

那岐神社で安全祈願の祈祷の後、研修会場を産業会館に移し災害事例の検証、人権研修、安全管理士の石原誠人氏を講師に「実践的リスクアセスメントの導入について」のテーマで講演をいただきました。

また、智頭町の上月光則山村再生課長の「智頭林業のこれから」と題しての講話を拝聴しました。

参集者を代表して、現業従業員の声高亮介君と草刈大樹君が「林業災害の根絶を肝に銘じて積極的に安全活動に取り組む」と宣言し全員で安全を誓いました。

森林組合では、昨年度から「安全は何者にも優先」をスローガンに全ての業務・日常活動を展開していることから、毎日の現場日誌にヒアリハット、その対策等を記載、議論し実践していることが無災害の継続に重要と考えております。

また、メンタル面も重要との認識のもと、個々の従業員の表情から心情を察して業務の配分、助言可能な事業体となることを目標に日々の職場環境の改善に努めております。

11月からは、森林組合の全ての職場で、「ご安全に」と唱和することを徹底し、災害・事故のない職場とするよう努めております。



## 玉木参事 安全運転管理者表彰を受賞

森林組合の玉木勝美参事はこの度、中国管区警察局長等から、平成12年度選任から安全運転管理者として、職務精励により表彰状を受賞しました。

参事は、これを契機にさらに交通事故防止に尽力したいとの意向であります。



# 森林組合の取り組み

## ○森林経営計画団地の設定について

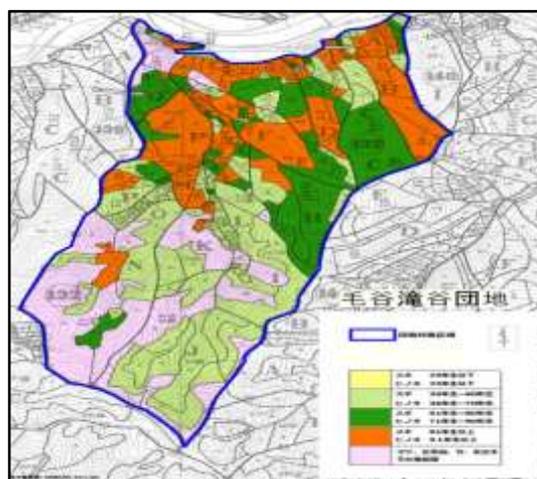
森林の集約化、団地化を図る森林経営計画の説明会は、国・県の施策に基づき平成24年度から、昨年度まで約70回開催させていただきました。

既に関係者の皆様に同意をいただき、森林経営計画団地として樹立している団地から、順次搬出間伐等を実施しておりますが、事業実施が遅れている団地もあり、お詫び申し上げます。出来るだけ早く着手したいと考えておりますので、ご理解をお願い致します。

新規の団地につきましては、進捗調整しながら本年度も説明会を開催し、15団地の樹立を計画しています。樹立にあたっては、引続き宜しくお願い致します。



「説明会の様子」



「毛谷滝谷団地の樹種・林齢別構成図」

## 地籍調査研修

6月中～3月終の予定で、地籍調査E工程(一筆地調査)の研修を受けています。

9月上旬まで芦津，西谷，野原，真鹿野の現地調査に同行して、やるべき事やいろいろな状況について研修しました。

現在は来年度現地調査の準備として、登記簿要約書，公図から台帳，図面を作成しています。2月からは本年度現地調査の取り纏めを行なう予定です。

覚えることが数多く有り大変ですが、智頭町の地籍調査に貢献出来るように頑張ります。(研修者 森林組合 城口主任)



## 行政機関等との意見交換会・予算要望

### ○鳥取県・智頭町・智頭町森林組合意見交換会

事業実施に関する協議等は、常日頃から濃密に実施しているが、平成27年7月9日には、東部農林事務所八頭事務所（永原八頭事務所長他）と7月22日には森林・林業振興局（尾崎局長、関係課長3名他）と一同に会いして意見交換会を開催しました。

なお、森林・林業振興局との意見交換では林業専用道の開設や搬出間伐状況、苗畑の現状を視察していただきました。



### ○鳥取県選出国會議員に要望

鳥取県選出の石破地方創生担当大臣、赤澤衆議院議員、舞立参議院に林業政策・予算に関する要望を行いました。

また、林野庁沖次長をはじめ林野庁の関係部課長にも同様の要望を行いました。

{要望項目}

- ①造林事業予算の確保及び路網整備に対する支援制度の充実
- ②間伐等の森林吸収源対策に必要な安定的財源の確保
- ③地方創生に向けた総合的な対策の実施



（石破大臣によろしくお願い致します。県内森林組合長）

### ○智頭町長・議長に28年度予算要望

平成28年度予算について、寺坂組合長、古谷総務委員長、河村事業委員長、綾木加工委員長で町長（代理で金児副町長）に、要望いたしました。

例年の搬出間伐、作業道開設等の要望の他に、今回は地籍調査の森林組合への発注、平成17年度から休止となっている林道穂見山線の開設再開をお願い致しました。



（改装となった町長室で 要望）

# 森林組合の間伐等事業の流れ

## 森林経営計画作成

- 説明会の開催（森林組合実施）
  - 森林所有者の同意→森林経営委託契約書の締結  
（森林所有者と組合 10年間）  
→（団地面積の1/2以上の同意）組合で現況確認・作業道計画調査
- 森林経営計画作成（森林組合作成 5カ年間の計画）
  - ・間伐、保育の計画
  - ・作業道等路網の計画 ⇔ 森林経営計画認定請求 ⇔ 森林経営計画認定（智頭町）

## 間伐等事業実施手続き

- 該当年度の実施予定箇所選定（森林組合）
  - ・森林経営計画認定団地の中で5ha以上の間伐箇所
  - ・搬出間伐に必要な作業道の図上検討
- 現地の概略踏査（森林組合）
  - ・間伐対象林調査
  - ・作業道線形調査、原木ストックヤード調査
- 森林所有者説明・了解（森林所有者、森林組合）
  - ・間伐、作業道の同意
  - ・境界の確認
  - ・必要に応じて測量

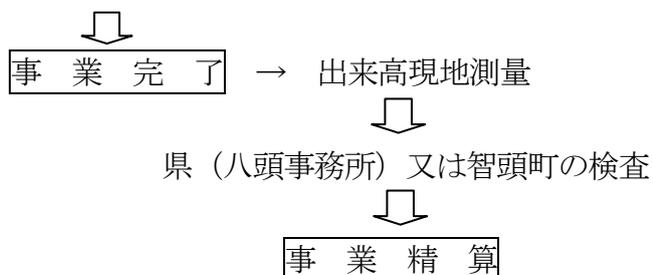


⇔ 保安林作業許可・伐採許可申請

⇔ 作業許可・伐採許可（県：八頭事務所）

## 間伐等事業実施

- 作業道開設・間伐実施
  - ・森林組合が直営班、請負で事業実施



## 《地区座談会》

恒例の地区座談会の開催を次の日程で予定しております。

森林組合の業務の取組、森林林業の動向、林業の各種補助制度などを説明し、意見交換をさせていただきたいと思っております。

(県、町の担当者にも出席をお願いしております。)

是非、多くの組合員の参加をお願い致します。

日	地区	会場
平成28年 2月5日 (金) 9:30~	土師	土師公民館(旧土師小学校)
2月5日 (金) 14:00~	山形	山形公民館
2月8日 (月) 9:30~	富沢	富沢公民館
2月8日 (月) 14:00~	智頭	産業会館2階
2月10日 (水) 9:30~	山郷	山郷公民館
2月10日 (水) 14:00~	那岐	那岐公民館(旧那岐小学校)

## 「理事会開催報告」

第2回理事会 平成27年7月14日

{協議事項}

- ① 推進員研修会について
- ② 役員賠償責任保険について
- ③ コンプライアンスプログラムについて
- ④ 固定資産の取得について
- ⑤ 夏季手当の支給について

第3回理事会 平成27年10月21日

{協議事項}

- ① 平成27年度上半期の仮決算について
- ② 平成27年度下半期の計画について
- ③ マイナンバー対応と方針・規程について
- ④ 就業規則の一部変更について
- ⑤ 購買品棚卸規程の一部変更について
- ⑥ 平成28年度林業予算について(要望)

## 加工センターから

加工センターも創業から25年が経過しようとしております。

智頭杉の啓発、販売促進を図るため、昨年より「県産木材ビジネスプラン事業」に取り組み、仏壇・イスの開発を進めています。

コンセプトは、仏壇はコンパクトに、イスは子供向けで制作しています。(値段は後日発表)  
是非、ご利用をお願い致します。



(かわいい動物をイメージ)



(安全配慮)



高380×巾285×奥210 (≒) やすらぎ

高310×巾240×奥180 (≒) なごみ

### 「編集後記」

早いもので今年も残すところ一ヶ月。何かと慌ただしい時期となりました。

1年を振り返り、経営計画団地の推進を初め「智頭杉の森見学ツアー」など様々な事業に取り組んで参りました。植林から製材業まで手掛ける森林組合は、長年生育した立木を伐採し建築材など様々な用途の製材品を送り出してきました。いわば、「木を生かす匠」として、引続き智頭材の普及に努めて行きたいと思っております。

また、今後も組合員の皆様のご意見、ご要望をお寄せいただき役職員一同、組合運営に尚一層努めて参ります。

それでは、外も一層寒くなりますが、体調にはお気をつけて、来年も皆さま良い年をお迎えください。